

助産雑誌

The Japanese Journal For Midwives

Vol.67 No.1
2013 January

1 次号予告

特集

母乳育児推進の「壁」とその解決方法

Q & A

- Q1. 帝王切開の傷がつかうお母さんに、無理なく母乳を勧めたい** 手代木清香
- Q2. 新生児室に赤ちゃんを預けたがるお母さんがいます** 力丸久実
- Q3. 退院すると不安だというお母さんが多いのですが** 五十嵐祐子
- Q4. 産後入院中のお母さんに「母乳が足りていないのでミルクをください」と言われたとき、どう対応すればよい?** 石井真美
- Q5. いまだに、母乳をあげると虫歯になるという方がいます** 青葉達夫
- Q6. 母乳育児は面倒ではないと言われてしまいました** 水井雅子
- Q7. 家族から、子どもを預かるからミルクを勧められたお母さんがいます** 井村真澄
- Q8. 施設内にミルクが存在しますが、どのくらい残しておいてもよい?** 手代木清香
- Q9. 乳頭が切れて痛くて、母乳育児を止めたいとお母さんに泣かれました** 戸田 千
- 海外レポート スイスの助産師教育制度** ルビエールいづみ

連載

【新連載】

- 周産期の生命倫理をめぐる旅 あたたかい心を求めて 1** 仁志田博司
- 災害時の母子保健 妊産婦を守る助産師の役割 1** 吉田穂波
- いのちをつなぐひとたち 13 福井トシ子さん**
- パルナバクリニック発 ぶつぶつ通信 105** 富田江里子

編集後記

●今月号では、分娩中に起こる異常に対する備えを特集しました。また、p.1024からの「研究・調査」では、近年、分娩リスクが増大傾向にあることが示唆されています。「備え」というとちょっと大変に思えますが、今回特集でご執筆いただいた記録のちょっとしたコツや、コミュニケーションが良好な組織づくりなどは、そのまま日常業務にも役立ちます。普段の仕事がやりやすくなり、しかも何か起こったときにも慌てないで済む、そんな一石二鳥の試みとして、実践に取り入れていただければ幸いです。(栗原)

●中田先生の連載「女性骨盤底再入門」が今月号で終わりました。以前、ある助産師さんが、「女性が産後に排尿障害が起きないように、分娩介助するのも私たちの仕事」と話していたのを思い出しました。助産は産後、それも更年期までを視野に入れた幅広いものなのということを実感した言葉でした。本当に助産師の仕事は長期にわたるし、目配りする範囲が広いですね。母乳育児もその1つで、産後すぐのかかわりが数年後にも影響を与えると思うとプレッシャーを感じると思います…。来月号の特集は母乳育児ですので、ご活用ください。(竹内)

助産雑誌

第66巻 第12号 2012年12月25日発行 毎月1回発行
発行：株式会社医学書院
代表者 金原優
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2012, Printed in Japan
1部定価：1,365円(本体1,300円+税5%)
2012年年間購読料(税込・送料弊社負担)：
冊子版 15,600円
冊子+電子版/個人 18,600円 冊子+電子版/共有 21,000円
電子版/個人 15,600円 電子版/共有 18,000円
編集室：☎03-3817-5773 FAX 03-5804-0485
電子メール josun@igaku-shoin.co.jp 担当 竹内/栗原/伊藤
販売部販売課：☎03-3817-5659
医学書院ホームページ：http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。
本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。